

令和2年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
20001	プロジェクト型	新規	タウオバチーにおける海馬由来コリン作動性神経刺激ペプチド関連因子の動態	名古屋市立大学	教授	松川 則之	遺伝子機能解析学分野	池内 健
20002	プロジェクト型	新規	統合失調症モデル動物を用いた幻聴の神経基盤に関する研究	熊本大学	教授	宋 文杰	分子神経生物学分野	那波 宏之
20003	プロジェクト型	新規	アルツハイマー病におけるアミロスフェロイド形成と神経細胞障害の時空間的解析	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構	部長	星 美奈子	病理学分野	柿田 明美
20004	プロジェクト型	新規	筋萎縮性側索硬化症(ALS)細胞質TDP-43凝集体形成を抑制する分子の同定と機能解析	杏林大学	教授	渡部 和彦	病理学分野	柿田 明美
20005	プロジェクト型	新規	手術安全と教育を目的とした深層学習による顕微鏡手術映像解析研究	北海道大学病院	助教	杉山 拓	脳機能解析学分野	松澤 等
20006	プロジェクト型	新規	内因的行動の神経基盤の解明	中京大学	任期制講師	酒多 穂波	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
20007	プロジェクト型	新規	新しいフェルトーシス阻害システムによる神経細胞保護の検討	群馬大学	教授	鳥居 征司	神経内科学分野	金澤 雅人
20008	プロジェクト型	新規	慢性疼痛関連分子を標的とした脳および脊髄での機能的解明	関西医科大学	准教授	片野 泰代	モデル動物開発分野	阿部 学
20009	プロジェクト型	新規	側頭葉てんかんにおけるてんかん焦点の可視化—multimodalityを用いた術前評価による外科手術の成績向上に向けて—	国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科	神経部長	福多 真史	脳神経外科分野	藤井 幸彦
20010	プロジェクト型	新規	微小管結合タンパク質を中心としたゲノム解析と機能解析	同志社大学生命医科学部	准教授	宮坂 知宏	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
20011	プロジェクト型	新規	神経回路精緻化メカニズムの遺伝学的解析	国立遺伝学研究所	教授	岩里 琢治	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20012	プロジェクト型	新規	アルツハイマー病タウ蓄積および変性に対するaquaporin-4機能促進薬TGN-073の効果の検証	東京大学	助教	山田 薫	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
20013	プロジェクト型	新規	SCA42モデルマウス解析を通じた脊髄小脳変性症治療法の開発	公立大学法人横浜市立大学	准教授	土井 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20014	プロジェクト型	新規	ミクログリア機能修飾によるタウ病態の変化の検討	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	研究員	高堂 裕平	脳神経内科学分野	金澤 雅人
20015	プロジェクト型	新規	脳神経疾患における銅局在のシンクロトン放射光による解析	藤田医科大学	教授	松浦 晃洋	病理学分野	柿田 明美
20016	プロジェクト型	新規	脳梁膨大後皮質におけるグルタミン酸受容体GluD2による入力選択的回路形成機構	北海道大学大学院医学研究院	教授	渡辺 雅彦	モデル動物開発分野	阿部 学
201901	プロジェクト型	継続	マルチモーダルな脳画像と脳機能データを用いたマルチモーダル機械学習	東京医科歯科大学	助教	服部 高明	脳機能解析学分野	松澤 等
201902	プロジェクト型	継続	認知症の解明と精密医療実現を目的としたゲノム-オミクス解析	国立長寿医療研究センター	部長	尾崎 浩一	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
201903	プロジェクト型	継続	Experimental autoimmune encephalomyelitisマウスの作成およびそれを用いた治療法開発	藤田医科大学	教授	鈴木 元	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201904	プロジェクト型	継続	遺伝性脳小血管病モデル動物を用いた脳卒中・認知症の新規治療法の開発	国立循環器病研究センター	部長	猪原 匡史	神経内科学分野	小野寺 理
201905	プロジェクト型	継続	GABA仮説に基づいた統合失調症モデルラットの病態解析	群馬大学	教授	柳川 右千夫	分子神経生物学分野	那波 宏之
201906	プロジェクト型	継続	高磁場MRIを用いた発達障害に伴う統合的脳機能に関する研究	国立成育医療研究センター	副院長・統括部長	小枝 達也	統合脳機能研究センター	鈴木 雄治
201907	プロジェクト型	継続	タウオバチー病理組織標本を用いたタウPET画像病理相関解析	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	部長	樋口 真人	脳疾患標本資源解析学分野	柿田 明美
201908	プロジェクト型	継続	ストレス応答におけるドーパミン受容体の役割の解明	北里大学	准教授	板倉 誠	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201909	プロジェクト型	継続	シヌクレイノバチーにおける異常蓄積タンパク質の排出亢進と治療法の開発	弘前大学	助教	丹治 邦和	病理学分野	柿田 明美
201910	プロジェクト型	継続	血漿中ILEI定量による高齢者認知機能障害の初期サロゲイトマーカーとしての検証	滋賀医科大学	教授	西村 正樹	遺伝子機能解析学分野	池内 健
201911	プロジェクト型	継続	アルツハイマー病に関連するゲノム情報を駆使した多遺伝子解析	大阪大学	特任講師(常勤)	菊地 正隆	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
201912	プロジェクト型	継続	臨床応用に資する[11C]TGN-020の迅速かつ高収量な製造合法の開発	福島県立医科大学	教授	久保 均	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
201913	プロジェクト型	継続	神経変性疾患特異蛋白と神経細胞脱落：ヒト基底核における定量的検討	信州大学	特任教授	小柳 清光	病理学分野	柿田 明美
201914	プロジェクト型	継続	脳由来の血中糖タンパク質の網羅的な同定方法の確立	関西医科大学	准教授	赤間 智也	モデル動物開発分野	阿部 学
201916	プロジェクト型	継続	睡眠覚醒と記憶制御に関わる視床下部神経の動作原理解明	名古屋大学	教授	山中 章弘	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201917	プロジェクト型	継続	精神疾患死後脳の分子プロファイル解析	福島県立医科大学会津医療センター	准教授	國井 泰人	病理学分野	柿田 明美
201918	プロジェクト型	継続	遺伝子改変マウスを用いた大脳基底核疾患の病態生理の解析	自然科学研究機構 生理学研究所	助教	知見 聡美	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201919	プロジェクト型	継続	歯状回顆粒細胞の興奮性に対するdiacylglycerol lipase alphaの役割の解明	東京大学	助教	菅谷 佑樹	モデル動物開発分野	阿部 学
201920	プロジェクト型	継続	タウ凝集体の伝播におけるミクログリアの役割	鹿児島大学歯学総合研究科	助教	松本 信英	病理学分野	柿田 明美

201921	プロジェクト型	継続	遺伝子改変技術による生体リズム中枢の分子機構の解析	京都大学	特任教授	岡村 均	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201922	プロジェクト型	継続	腸内細菌叢および腸管上皮細胞からのDAMPs制御による脳虚血病 巣進展への影響	日本医科大学大学院	准教授	西山 康裕	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
201923	プロジェクト型	継続	孤発性ALS患者で見出された新規microRNAの機能解析	岐阜薬科大学	教授	保住 功	病理学分野	柿田 明美
3003	プロジェクト型	継続	高磁場MRIを用いたてんかん原性部位及び機能部位との関係の研究	静岡てんかん・神経医療センター	医長	臼井 直敬	統合脳機能研究センター	鈴木 雄治
3004	プロジェクト型	継続	中枢神経原発悪性リンパ腫におけるTACC 3発現とその臨床病理学的 意義	久留米大学	教授	杉田 保雄	病理学分野	柿田 明美
3005	プロジェクト型	継続	超偏極低分子化合物の生体トレーサーとしての応用を目指した基 礎検討	量子科学技術研究開発機 構・放射線医学総合研究所	チームリー ダー	青木 伊知男	生体磁気共鳴学分野	五十嵐 博中
3006	プロジェクト型	継続	NF- κ B活性化を標的とした中枢神経原発悪性リンパ腫治療法の開 発に向けた多施設共同研究	横浜市立大学大学院医学研 究科	助教	立石 健祐	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
3008	プロジェクト型	継続	特発性正常圧水頭症患者脳脊髄液中のバイオマーカー診断と重症 度分類の確立	順天堂大学	准教授	中島 円	遺伝子機能解析学分野	池内 健
3010	プロジェクト型	継続	Boron neutron capture therapy (BNCT)が播種・浸潤に及ぼす効 果の検討	京都大学複合原子力科学研 究所	助教	近藤 夏子	脳神経外科学分野	棗田 学
3011	プロジェクト型	継続	RNA-Seq解析を用いるがん性疼痛と難治性神経障害性疼痛に関連 分子の探索・同定	大阪医科大学	客員教授	伊藤 誠二	遺伝子機能解析学分野	池内 健
3015	プロジェクト型	継続	認知症関連疾患リスク遺伝子（特にACE, ABCA7、FUSに関して） 探索	名古屋市立大学	教授	赤津 裕康	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
3016	プロジェクト型	継続	筋強直性ジストロフィーにおけるタウ病変の評価	量子科学技術研究開発機 構・放射線医学総合研究所	研究員	高堂 裕平	病理学分野	清水 宏

※所属および職名は申請時のものです。

令和2年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
20501	連携資源利用型	新規	脳研究に必須な遺伝子改変マウスの系統保存に重要な培養条件の検討	東京医科大学	教授	久慈 直昭	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20502	連携資源利用型	新規	神経変性疾患モデルマウスのヒト疾患との関連	昭和大学	准教授	大滝 博和	病理学分野	柿田 明美
20503	連携資源利用型	新規	統合失調症モデルザルの脳病理学的変化の研究	京都大学霊長類研究所	教授	中村 克樹	病理学分野	柿田 明美
20504	連携資源利用型	新規	脳腫瘍の原因遺伝子変異を特異的に抑制するsiRNA核酸医薬品開発	東京大学	准教授	程 久美子	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
20505	連携資源利用型	新規	疾患モデル動物の作製、保存、繁殖に関する最先端技術の開発	熊本大学	講師	竹尾 透	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20506	連携資源利用型	新規	筋萎縮性側索硬化症におけるイノシトール6リン酸キナーゼの役割	東海大学医学部	教授	永田 栄一郎	病理学分野	柿田 明美
20507	連携資源利用型	新規	ヒト特異的な脳細胞は果たしてあるのか？シングルセル比較トランスクリプトーム・エピゲノム解析	自然科学研究機構	特任准教授	郷 康広	病理学分野	柿田 明美
20508	連携資源利用型	新規	脳神経筋疾患モデルマウスにおける超過剰排卵誘起処理と反復採卵による系統保存システムの開発	公益財団法人 実験動物中央研究所	センター長	高橋 利一	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20509	連携資源利用型	新規	神経幹細胞での遺伝子変異による腫瘍化メカニズムの解析	国立病院機構大阪医療センター	部長	金村 米博	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
201926	連携資源利用型	継続	発達期脳内微細構造の生体イメージングによる神経回路形成機序の解明	熊本大学	特任准教授	水野 秀信	細胞病態学分野	三國 貴康
201927	連携資源利用型	継続	TDP-43病変に結合する分子プローブの開発	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	研究員	小野 麻衣子	脳疾患標本資源解析学分野	柿田 明美
201928	連携資源利用型	継続	脳疾患ゲノム情報に基づく病態モデルマウスの開発に関する研究	理化学研究所	室長	吉木 淳	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201929	連携資源利用型	継続	歩行運動の脳基底核ドーパミン制御機構の解明	大阪大学	准教授	木津川 尚史	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201930	連携資源利用型	継続	モノアミン神経伝達物質合成関連遺伝子の組織特異的破壊による生理機能変化の解析	東京工業大学	教授	一瀬 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
201931	連携資源利用型	継続	ミクログリア機能を反映するPETイメージングの開発	国立長寿医療研究センター	室長	木村 泰之	病理学分野	他田 真理
201932	連携資源利用型	継続	脳バンク検体を用いた加齢に伴う脳組織のクローン再構成及び脳腫瘍発生に関する研究	京都大学	特定講師	荒川 芳輝	病理学分野	柿田 明美
201933	連携資源利用型	継続	神経組織特異的Scrapperノックアウトマウスの作出と神経変性に関する解析	関西学院大学	教授	矢尾 育子	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
3017	連携資源利用型	継続	筋強直性ジストロフィーの中樞神経病態の解明	大阪大学	助教	中森 雅之	病理学分野	清水 宏
3018	連携資源利用型	継続	ジストロフィン結合タンパク質複合体の代謝回転に関する研究	国立精神・神経医療研究センター	室長	今村 道博	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
3020	連携資源利用型	継続	脳・神経回路におけるドーパミンの機能解析	大阪大学	教授	小山内 実	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
3023	連携資源利用型	継続	後部視床下部において過眠症に関連するDNAメチル化部位の探索と各脳領域に特異的なメチル化プロファイルの探索	東京大学	助教	嶋多 美穂子	病理学分野	柿田 明美
3024	連携資源利用型	継続	TDP-43細胞内局在スイッチ制御による筋萎縮性側索硬化症モデルの作成	北里大学	教授	佐藤 俊哉	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦

※所属および職名は申請時のものです。

List of Global Collaborative Research Project FY2020, Brain Research Institute, Niigata University

Project #	New Renew	Project Title	Principal Investigator			BRI Host Collaborator		
			Affiliation	Position	Name	Dept	Name	
1	G3005	Renew	Production of congenital nystagmus model mice and analysis of visual function	DANDRITE, Department of Biomedicine, Aarhus University, Denmark	Associate Prof. / Group Leader	Keisuke Yonehara	Comparative & Experimental Medicine	Toshikuni Sasaoka
2	G3006	Renew	Development of gene-cell therapy of Alzheimer's disease based on delivery of neurotrophic factors to brain: translational study	Kazan State Medical University, Russia	Prof.	Marat Mukhamedyarov	Pathology	Akiyoshi Kakita
3	G3007	Renew	Assessing molecular mechanisms of novelty-induced memory boost by using genetically-modified rats derived from embryonic stem cell line for Lister-hooded rat	Department of Biomedicine, Aarhus University, Denmark	Associate Prof.	Tomonori Takeuchi	Animal Model Development	Manabu Abe
4	G201902	Renew	Role of autophagy in NF1-associated gliomas	Department of Pathology, Johns Hopkins University School of Medicine, USA	Associate Professor	Fausto J Rodriguez	Neurosurgery	Yukihiko Fujii
5	G201903	Renew	Development, optimization and validation of human AQP-4 PET Radioligand	Departments of Psychiatry and Radiology / Harvard Medical School, USA	Prof.	Marek Kubicki	Center for Integrated Human Brain Science	Hironaka Igarashi
6	G202001	New	Hydrodynamic Pathology of the Brain	Neurology, Univ. of California Davis, USA	Prof.	Ingrid L Kwee	Center for Integrated Human Brain Science	Hironaka Igarashi
7	G202002	New	Elucidating the role of SLFN11 in response to PARP inhibition in diffuse intrinsic pontine gliomas	Division of Pediatric Oncology Sidney Kimmel Comprehensive Cancer Center, Johns Hopkins School of Medicine, USA	Associate Prof.	Eric H. Raabe	Neurosurgery	Yukihiko Fujii
8	G202003	New	Computational quantitative analysis for neuropathologic feature of α -synucleinopathy patients	Department of Pathology, Asan Medical Center, Seoul, Republic of Korea	Clinical Assistant Prof.	Soo Jeong Nam	Pathology	Akiyoshi Kakita
9	G202004	New	The role of striatal direct and indirect pathways and dopamine D2 isoforms in the pathophysiology of psychosis	Department of Pharmaceutical Sciences, Ben and Maytee Fisch College of Pharmacy, The University of Texas at Tyler, USA	Associate Prof.	Yanyan Wang	Comparative & Experimental Medicine	Toshikuni Sasaoka
10	G202005	New	Investigation of the role of neuromodulators in state transition of neural dynamics to represent a behavioral goal	Max Planck Institute for Brain Research, Germany	Research Group Leader	Hiroshi Ito	Cellular Neuropathology	Takayasu Mikuni
11	G202006	New	Investigating the role of BAI1 in the tumor cell invasion of malignant glioma	Department of Neurosurgery, School of Medicine and O'Neal Comprehensive Cancer Center, University of Alabama at Birmingham, USA	Assistant Prof.	Satoru Osuka	Neurosurgery	Yukihiko Fujii
12	G202007	New	Investigation of pathogenesis of Alzheimer's disease using mouse models	Dept. Neurobiology, Univ. of Massachusetts Medical School, Brudnick Neuropsychiatry Research Institute, USA	Assistant Prof.	Kensuke Futai	Comparative & Experimental Medicine	Toshikuni Sasaoka
13	G202008	New	Establishing the Neurodegenerative Pathologic Diagnostic Protocols by Intensive Pathologic Reviews	Department of Pathology, College of Medicine, Inje University Busan Paik Hospital, Republic of Korea	Assistant Prof.	Hwa Jin Cho	Pathology	Akiyoshi Kakita